

## 実 施 計 画 書

### 1 調査名

知多バス横須賀線の利用実態調査

### 2 調査目的

知多バス横須賀線は利用者が少なく、国庫補助を受け、東海市の尾張横須賀駅と大府市の大府駅前との区間を運行している。平成28年10月に実施されたダイヤ改正では、利用者減により、横須賀B線が国庫補助から外れ、一部区間（太田川駅・尾張横須賀駅間）で路線廃止、横須賀A線（尾張横須賀駅前・大府駅前）で運行本数の縮小がなされた。

横須賀A線は東海市と大府市を繋ぐ重要な幹線として位置づけられ、通勤・通学での固定利用者層もいる。持続可能な公共交通網を形成するために、利用者拡大に向けた再編を見据え、利用実態について把握するものである。

### 3 調査実施者

知多乗合株式会社

### 4 調査時期

平成28年12月前半

### 5 調査系統

横須賀線全便

### 6 調査項目

車内乗車人数

### 7 調査方法

運転手が、路線上の定点での車内乗車人数を調査し、利用状況を確認する。

※利用が多い乗車バス停及び降車バス停を知多バス側で把握しており、定点調査を行えば、利用状況をほぼ把握できる。